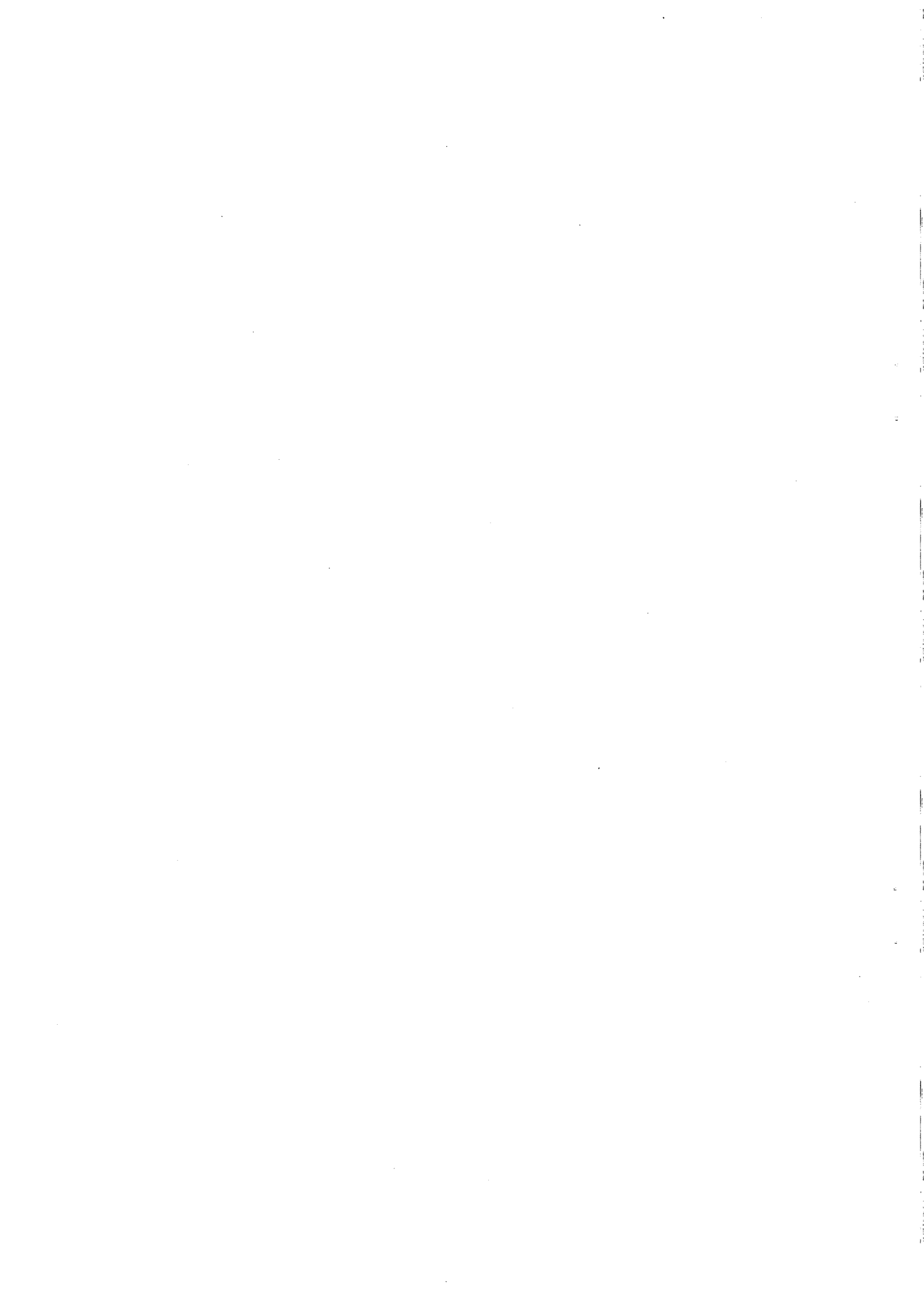


2020 年度 入学 試験 問題

世界史 B

(試験時間 10:30~11:30 60分)

1. この問題冊子が、出願時に選択した科目のものであることを確認のうえ、解答してください。
2. 解答用紙には、記述解答用紙とマーク解答用紙の2種類があります。
3. 解答は、必ず解答欄に記入およびマークしてください。解答欄以外への記入およびマークは無効となります。
4. 解答は、HBの鉛筆またはシャープペンシルを使用し、訂正する場合は、プラスチック製の消しゴムを使用してください。特に、マーク解答用紙には鉛筆のあとや消しくずを残さないでください。
5. 解答用紙を折り曲げたり、汚したりしないでください。また、マーク解答用紙を記述解答用紙の下敷きを使用しないでください。
6. 解答用紙には、必ず受験番号と氏名を記入およびマークしてください。
7. マーク解答用紙への受験番号の記入およびマークは、コンピュータ処理上非常に重要なので、誤記のないようにしてください。
8. 一度記入したマークを修正する場合、しっかりと消してください。消し残しがあると、マーク読み取り装置が反応して解答が無効となることがあります。



I 以下の文章を読み、空欄A～Iに入る最も適切な語句を記述解答用紙に記入し、設問に答えなさい。ただし、同じ記号には同じ語句が入る。(50点)

黒海とアゾフ海の沿岸には、紀元前6世紀ごろにはギリシア人の植民市が建設されていた。このギリシア人の進出以前から南ロシアの草原地帯を支配していたのは (A) 人であった。勇猛果敢な遊牧・騎馬民族として知られる (A) 人は、独自の文化と強力な軍隊を持っており、ギリシア人と交易する商業民族でもあった。

8世紀末より、スカンディナヴィアを居住地とするヴァイキングが、交易と海賊行為を繰り返しながら東のロシアと西のイングランド、フランスに向かった。ロシアに向かったヴァイキングは (B) と呼ばれるが、ロシアという名称は、ロシアの建国に大きな役割を果たした (B) に由来すると言われる。

12世紀に入るとロシア諸侯国の自立化が進んだが、13世紀にはモンゴルの支配に服した。このようにロシアがモンゴルの支配下にあった状態を「(C)」と呼ぶ。

14世紀には、モンゴルの支配下でロシア諸侯国の徴税をゆだねられ、内陸河川交通路の交易拠点を中心にぎった (D) 国が台頭した。(D) 国はイヴァン3世のときに諸侯国を併合してロシアを統一すると、1480年にはモンゴルの支配から脱した。彼はビザンツ最後の皇帝の姪と結婚すると、ビザンツ帝国の後継者としてツァーリを自称した。

* * *

18世紀に入ると、ロシアはピョートル1世のもとで一大帝国に発展した。彼はバルト海の覇権を握っていた強国スウェーデンに対して北方戦争を起こした。当初は劣勢だったが、ポルタヴァの戦いで圧勝すると、念願のバルト海地域を手中にした。完全な内陸国家であったロシアは、このときはじめて海への出口を確保した。ネヴァ川の河口に建設されたペテルブルクは、ロシア・東ヨーロッパの文化と西欧風の文化の一大融合地になり、ヨーロッパで最も繁栄し、最も華やかな都の一つとなった。

ピョートル1世に引き続き対外的な拡張政策を大々的に実行したのがエカチェリーナ2世である。彼女はオスマン帝国との戦争を経験し、この戦争の和平をプロイセンとオーストリアが仲介したのをきっかけとして、両国とともにポーランド分割を行った。

ナポレオンが帝位についたとき、ロシアの皇帝はアレクサンドル1世であった。彼

はナポレオンの恫喝に屈して大陸封鎖に加わり、国民経済に困難をもたらすような状況を引き起こした。その結果、フランスから離反する傾向を強めたロシアに対して、ナポレオンは軍事遠征をもって報いた。しかしモスクワに後退したロシア軍を追ったナポレオン軍は、チフスの発生と「冬將軍」によって撃退され、命からがらフランスに逃げ帰ることになった。

その後、アレクサンドル1世は一時フランスにまで進出し、全ヨーロッパ最強の君主となり、大きな発言権を得た。しかし国内では反動的な官僚政治が続き、1825年には皇帝による専制政治と農奴制の打倒をかかげた貴族を中心とする将校たちが武装蜂起した（ E ）の乱が起こった。

（ E ）の乱と同時期に即位したニコライ1世は、国内外の自由主義とナショナリズムを抑圧する立場を強固にした。1830年にポーランドの独立運動を鎮圧し、1849年にはオーストリアの要請によりハンガリーに大軍を派遣して独立運動を圧殺した。このような対外的強硬策は、バルカン半島および中近東の支配権をめぐるクリミア戦争を引き起こすことになった。^⑧

クリミア戦争における敗戦は、ロシアに大きな転換の契機を与えた。数あるロシアの後進性の原因の中でも農奴制がその最たるものだと考えられたことから、1861年に農奴解放令が發布された。^⑨

* * *

日露戦争中にペテルブルクで起きた（ F ）事件をきっかけにして、最初の全国的な革命が起こった。^⑩政府は国会の開設と言論出版の自由を約束したが、このような妥協策では労働者・農民の不満をはずめることはできなかった。（ F ）事件の後に成立した（ G ）の政府は、国会を無視する緊急立法のかたちで新しい土地立法を行った。しかし（ G ）は革命派の弾圧には手段を選ばなかったために暗殺されることになった。

第一次大戦中の1917年3月（ロシア暦2月）にパンを求める民衆のデモがゼネラル・ストライキに発展すると、ニコライ2世が退位して（ H ）朝は倒れた。しかし後を継いだ臨時政府が戦争を継続したため、戦争の継続に反対するボリシェヴィキが十月革命を起こした。そして世界初の社会主義政権、ソヴィエト=ロシアが誕生した。4月に亡命先のスイスから封印列車で帰国していた（ I ）は、十月革命勃発

後、ただちにその政治的才能をもって組織づくりを開始した。

問1 下線部①に関連して、ヴァイキングの活動について誤っているものを次から1つ選び、マーク解答用紙にマークしなさい。

- ア. 西フランク王と封建関係を結び、ノルマンディー公国を建てた。
- イ. シチリア島をイスラーム勢力から奪い取り、両シチリア王国を建てた。
- ウ. デンマークのクヌートがイングランド王になった。
- エ. アイスランドに移住し、さらにはグリーンランドに植民した。
- オ. オットー1世に敗れた後に、ハンガリー王国を建てた。

問2 下線部②に関連して、当時のスウェーデンの国王を次から1人選び、マーク解答用紙にマークしなさい。

- ア. クリステイアン2世
- イ. シギスムント
- ウ. カール12世
- エ. グスタフ・アドルフ
- オ. レオポルト1世

問3 下線部③に関連して、北方戦争が行われていたのとほぼ同時期に西ヨーロッパで行われていた戦争を次から1つ選び、マーク解答用紙にマークしなさい。

- ア. オーストリア継承戦争
- イ. スペイン継承戦争
- ウ. 三十年戦争
- エ. プファルツ（ファルツ）継承戦争
- オ. 七年戦争

問4 下線部④に関連して、次のア～コはロシアが対外拡張政策の結果として締結した条約である。(1)～(3)に該当する条約をア～コの中から1つ選び、マーク解答用紙にマークしなさい。

- (1) オスマン帝国に対してブルガリアの自治を認めさせた条約
- (2) イランに対して治外法権を認めさせた条約
- (3) 清に対してアムール川以北の領有を認めさせた条約

- ア. ネルチンスク条約
- イ. ニスタット条約
- ウ. キャフタ条約
- エ. キュチュク・カイナルジャ条約
- オ. トルコマンチャーイ条約
- カ. パリ条約
- キ. アイゲン条約
- ク. サンステファノ条約
- ケ. イリ条約
- コ. ポーツマス条約

問5 下線部⑤に関連して、エカチェリーナ2世に関する説明として誤っているものを次から1つ選び、マーク解答用紙にマークしなさい。

- ア. ヴォルテールらの助言によって学芸の保護や法律の整備などの改革を行った。
- イ. プガチョフの反乱を弾圧し、農奴制と貴族の特権を強化した。
- ウ. クリミア半島(クリム・ハン国)を併合した。
- エ. 大黒屋光太夫と面会した。
- オ. ベーリングに命じてカムチャツカ半島やアラスカ方面を探検させた。

問6 下線部⑥に関連して、ポーランドの3回にわたる分割とその直後の状況について誤っているものを次から1つ選び、マーク解答用紙にマークしなさい。

- ア. 選挙王制であり、国王の権力は弱く不安定だった。
- イ. フランス革命の混乱に乗じて、オーストリアとロシアが第2回分割を行った。
- ウ. コシチューシコ（コシューシコ）が義勇軍を率いて武装闘争を行った。
- エ. ナポレオンはポーランドをワルシャワ（大）公国という名前で復活させた。
- オ. ウィーン会議の結果、ロシア皇帝がポーランド王を兼ねた。

問7 下線部⑦に関連して、ポーランド出身で祖国の独立運動を鼓舞する曲を作った人物を次から1人選び、マーク解答用紙にマークしなさい。

- ア. シューベルト
- イ. チャイコフスキー
- ウ. ヴァーグナー（ワーグナー）
- エ. ショパン
- オ. ドビュッシー

問8 下線部⑧に関連して、クリミア戦争をめぐる状況について誤っているものを次から1つ選び、マーク解答用紙にマークしなさい。

- ア. ロシアはギリシア正教徒の保護を口実にしてオスマン帝国と開戦した。
- イ. イギリス、フランス、サルデーニャがオスマン帝国の側に立って参戦した。
- ウ. ナイティンゲールが従軍看護師として活躍した。
- エ. セヴァストーポリ要塞をめぐる激しい戦闘が行われた。
- オ. ビスマルクが調停役となって戦後処理が行われた。

問9 下線部⑨に関連して、以下の(1)と(2)の設問に答えなさい。

- (1) クリミア戦争の敗戦後のロシアにおいて農奴解放をはじめとする「大改革」が行われたのと同じように、ほぼ同時期の中国においてもアヘン戦争・アロー戦争の敗戦後に富国強兵を図ろうとする運動が行われた。この運動のことを何と言うか、記述解答用紙に記入しなさい。
- (2) アレクサンドル2世が行った農奴解放について、以下の語句をすべて用いて記述解答用紙に100字以内で説明しなさい。なお、用いた語句には必ず下線を引きなさい。

ミール	工業化
-----	-----

問10 下線部⑩に関連して、日露戦争における日本の勝利は世界各地の民族・独立運動を刺激したが、これに該当しないものを次から1つ選び、マーク解答用紙にマークしなさい。

- ア. スーダンにおけるマフディー運動
- イ. インドにおける国民会議派の運動（カルカッタ大会）
- ウ. ベトナムにおけるドンズー運動
- エ. イランにおける立憲革命
- オ. オスマン帝国における青年トルコ革命

II 以下の文章を読み、設問に答えなさい。(50点)

1206年、チンギス=ハンは自ら大ハン位に即き大モンゴル国を建てた。モンゴルは遠征を繰り返し、13世紀後半までにユーラシア大陸の東西にまたがる人類史上最大の領域を支配下に置いた。この過程でモンゴルの征服活動は中国にも及んだ。第5代大ハンのフビライは根拠地をモンゴル高原から華北に移し、中国への南征を継続して1279年には南宋を滅ぼした。

オゴタイは支配下の農耕地帯に財務を扱う機関を置き、征服戦争による農耕地帯の掠奪から継続的な支配による徴税へ移行した。これはモンゴルの経済政策の大転換である。この時期の徴税制度の特徴は、中国であれイランであれ商人が請け負うという点である。したがって華北では唐代に施行された兩税法の廃止につながった(旧南宋領では存続)。なお徴税請負商人の多くはムスリムであり、フビライの時代に活躍した大商人かつ財務官僚のアフマドはその代表格である。

フビライ時代のモンゴル帝国は、元を一応の宗主国としつつも、チンギスの子孫による諸政権がユーラシア各地に併存する緩やかな連合体となっていた。フビライは根拠地を冬の大都(今の北京)と夏の上都(今の内モンゴル)に定めて二点間の道路を整備し、朝廷は季節ごとに移動した。

フビライが大都を造営したのは世界経済の結節点となることを意図してのことであった。つまり、大都にはまず上都経由でユーラシア東西をつなぐ交易路が達した。次いで中国経済の中心である江南(長江中下流域)から大運河が延伸した。さらに海沿いの直沽(今の天津)が開発され海からの運河が開削されたことによって海上路も接続したのである。

中国ではそれまで銅が貨幣の主役として用いられてきたが、元ではユーラシア中央部から西部にかけて広く用いられる銀が採用された。漢語「錠」、モンゴル語「スケ」、ペルシャ語「バーリシュ」と呼ばれる約2キログラムの銀塊を基準にモンゴル支配下で貨幣の重量が統一され、交易の円滑化に貢献した。南宋が持っていた東アジア・東南アジアにつながる海上交易路とモンゴルが有していた大陸の交易路が、南宋の滅亡により接続されたため、銀の使用が世界的に広まった。これは16世紀のグローバルな銀経済の先駆けといえるだろうが、モンゴル時代の銀の流通量は取引高を満たすは

どではなかった。それを補完したのが紙幣である。

元では金や銀を兌換準備とする紙幣を発行して銀不足に対応した。この紙幣はもと^(e)もとフビライがアリクブケという有力者との大ハン位をめぐる戦いの戦費を捻出するために発行したものであるが、フビライが大ハンに即いた後も発行は継続された。元朝中期以降は金銀との兌換が停止されたが、紙幣の信用は納税、特に後述する塩の販売手形の代金を紙幣で納入させて回収することで維持された。^(f)紙幣発行による財政運営は1350年代までおおむね順調であり、物価騰貴率は年平均4%ほどであったという。

元朝の財政収入の柱は塩税と商税にあった。早くもオゴタイの時代には塩を政府の専売とし、^(g)歴代ハンはその政策を踏襲した。塩の販売手形を商人に売却することで得られる税収は政府収入の過半を占めたという。塩商人は役所で紙幣を支払い、手形を購入する。次いで商人は塩の生産地へ赴き、^(h)手形を示して現地の役所から塩の現物を手に入れ、最後に任意の土地で塩を売りさばいたのである。

政府収入のうち、塩税に次いで大きな比重を占めたのは商税であった。商税は宋代よりもはるかに軽く、商品の運搬自体は自由であり、販売地での売上に対してのみ課された。これに対して南宋では商品を運ぶと通行税が課された上に、売上税の税率そのものも高かった。これは交易を保護・奨励する元朝の姿勢を示すものといえるだろう。

むろん物納の税もあった。現物として徴収された米や麦などは北方へ送られた。それらは改修された大運河を通じて大都へ運ばれ、一部は遠くモンゴル高原まで輸送されて軍隊の兵糧となった。激しい南宋征服戦争にもかかわらず、唐代後半以降高い農業生産力を誇った江南をほぼ無傷で手に入れたことは、元にとって幸運であった。⁽ⁱ⁾江南が華北（とそれ以北）に食糧を供給する体制が確立したのである。

元朝はこうしてユーラシア交易の莫大な利益に加え、中国本土からの巨額の税収を得ることに成功した。純粋な遊牧と農耕地帯への掠奪だけでは決して得られない富を^(j)安定的に確保することに成功したのである。

問1 下線部①に関連して、モンゴル帝国の戦いと領土拡大の過程について、以下の語句をすべて用いて記述解答用紙に120字以内で説明しなさい。なお、用いた語句には下線を引きなさい。

チンギス=ハン	バトゥ	フラグ	オゴタイ	西夏	金
ロシア	アッパース朝	ホラズム=シャー朝	ワールシュタット		

問2 下線部②に関連して、フビライの在位した時期の出来事として、誤っているものを次から1つ選び、マーク解答用紙にマークしなさい。

- ア. ヴェネツィア出身のマルコ=ポーロは大都に至った。
- イ. チベット仏教の高僧パスパはモンゴル語を表記するためにチベット文字を基礎としたパスパ文字を考案した。
- ウ. 郭守敬はイスラーム暦法の成果を吸収してそれまでより精密な授時暦を作成した。
- エ. 元曲と呼ばれる演劇が大都で流行し、施耐庵は『金瓶梅』を著して商人階層の欲望に満ちた生活を描写した。
- オ. フビライの即位に反対してハイドゥの乱が起こった。

問3 下線部③に関連して、この地域の歴史について述べた文として、正しいものを次から1つ選び、マーク解答用紙にマークしなさい。

- ア. 黄河中流域に彩文土器を特色とする仰韶文化が興り、次いで東方から黒色土器を特色とする竜山文化が広がった。
- イ. 北魏の太武帝は均田制を実行して、農耕民が多数を占める華北社会の安定と確実な徴税を図った。
- ウ. 趙匡胤はもと後周の将軍であったが杭州を都として宋を建て、全国を統一することに成功した。
- エ. 清のホンタイジは呉三桂の降伏を受け入れて万里の長城を越え、李自成を破って北京を陥れ、北京に遷都した。
- オ. 中国共産党軍は陝西省延安を目指して大躍進を実行し、この過程で毛沢東の指導的地位が確立された。

問4 下線部④に関連して、南宋が存在していた時代の出来事として、正しいものを次から1つ選び、マーク解答用紙にマークしなさい。

- ア. サラディン（サラーフ=アッディーン）がエジプトにアイユーブ朝を興した。
- イ. ウィクリフやフスのカトリック批判に対してコンスタンツ公会議が開かれた。
- ウ. 李成桂が漢城を都として朝鮮（李朝）を建てた。
- エ. ピサロが南アメリカ大陸のインカ帝国を征服した。
- オ. イングランドをノルマン人が征服した。

問5 下線部⑤に関連して、この地域の歴史について述べた文として、誤っているものを次から1つ選び、マーク解答用紙にマークしなさい。

- ア. アケメネス朝のダレイオス1世は各州にサトラップと呼ばれる知事を置いて全土を統治し、王の目と呼ばれる監察官に彼らを監視させた。
- イ. プワイフ朝では軍人としてトルコ系マムルークが重用され、彼らへの俸給の代わりに土地の徴税権を与えるイクター制が導入された。
- ウ. サファヴィー朝では十二イマーム派が国教とされ、アッバース1世の時代に新首都イスファハーンが建設された。
- エ. カージャール朝では思想家アフガーニーらの呼びかけにより、イギリスが販売を独占していたタバコに対しタバコ=ボイコット運動が展開された。
- オ. レザー=ハーンが興したパフレヴィー朝は第一次石油危機によって行き詰まり、イラン革命によってイラン=イスラーム共和国が成立した。

問6 下線部⑥に関連して、唐代の出来事として、誤っているものを次から1つ選び、マーク解答用紙にマークしなさい。

- ア. 玄奘や義浄はインドを直接訪れて仏教経典を中国へ持ち帰った後、その翻訳に貢献した。
- イ. 唐は詩文の栄えた時期として知られ、李白、杜甫、白居易らの作品は中国文学を代表するものとみなされている。
- ウ. 高宗の皇后であった則天武后は自ら即位して国号を周と定め、中国史上唯一の女帝となった。
- エ. 日本は遣唐使を派遣して唐の文化の摂取に努め、その影響を受けた天平文化が平城京を中心に栄えた。
- オ. 唐は新羅と連合して百済と高麗を滅ぼしたが、その後新羅により朝鮮半島から排除された。

問7 下線部⑦に関連して、ムスリムとはイスラーム教徒のことであるが、イスラーム世界について述べた文として、正しいものを次から1つ選び、マーク解答用紙にマークしなさい。

- ア. イスラーム教の開祖ムハンマドの死後カリフの座をめぐる争いが起こり、第4代カリフのアリーはバグダードを首都としてウマイヤ朝を開いた。
- イ. アラブ文学を代表する作品として、各地の説話を集大成した『千夜一夜物語』やアジア・北アフリカ・アメリカを旅したイブン=シーナーによる『旅行記』（『三大陸周遊記』）がある。
- ウ. イベリア半島に成立した後ウマイヤ朝は軍隊をフランク王国にまで差し向けたが、トゥール・ポワティエ間の戦いでカール=マルテル率いるフランク軍に敗退した。
- エ. 1948年のイスラエル建国宣言を認めないエジプトなどアラブ諸国はイスラエルとの間に第一次中東戦争（パレスティナ戦争）を起こし、その結果パレスティナ難民が大量に発生した。
- オ. 2001年にニューヨークで起きたイスラーム教過激派による同時多発テロ事件を受け、アメリカはイラク戦争を起こし、次いでアフガニスタンに侵攻した。

問8 下線部⑧に関連して、ユーラシアについて述べた文として、誤っているものを次から1つ選び、マーク解答用紙にマークしなさい。

- ア. 匈奴は冒頓単于の時代にモンゴル高原を統一し、漢の高祖を破って全盛期を迎えた。
- イ. アフガニスタンは、第三次アフガン戦争の結果英領インド帝国に編入されイギリスの植民地となった。
- ウ. 乾隆帝はジュンガルを滅ぼして東トルキスタン全域を征服し、これを新疆と名付け、清朝は乾隆帝の時期に最大版図を実現した。
- エ. インド北部のカシミールでは第二次大戦後にその帰属をめぐる二度にわたるインド=パキスタン戦争（印パ戦争）が起こった。
- オ. チベット高原にソンツェン=ガンポの建てた吐蕃では、中国とインド双方の影響を受けてチベット仏教が起こった。

- 問9 下線部⑨に関連して、地域間の交流にもとづく文化について述べた文として、誤っているものを次から1つ選び、マーク解答用紙にマークしなさい。
- ア. 北インドに興ったグプタ朝のチャンドラグプタ1世の時代は、ギリシャ式彫像の影響を受けたガンダーラ美術の全盛期として著名である。
 - イ. ティムール朝ではトルコ=イスラーム文化が栄え、代表的なジャンルとして中国絵画の影響を受けたミニアチュール（細密画）がある。
 - ウ. キリスト教布教のため中国を訪れたカステイリオーネは宮廷画家として仕えたが、中国と西洋の様式を組み合わせた離宮の円明園も設計した。
 - エ. 火薬や羅針盤は中国から伝わってルネサンス期のヨーロッパで改良され、後の世界に大きな影響を与えた。
 - オ. ムガル帝国では亡くなった寵姫のためにシャー=ジャハーンが造営したタージ=マハルがインド=イスラーム建築の傑作の一つとされる。
- 問10 下線部⑩に関連して、長江以南の地域について述べた文として、正しいものを次から1つ選び、マーク解答用紙にマークしなさい。
- ア. 第二次大戦後の台湾では、長引く中国共産党との内戦に反発した住民が蜂起して二・二六事件が起きた。
 - イ. 曹操が後漢を滅ぼして魏を建てると、劉備は対抗して成都を都として蜀を建て、孫権もまた建業を都として呉を建て、三国時代が始まった。
 - ウ. 洪秀全は「扶清滅洋」を掲げ外国勢力の一掃を求めて太平天国の乱を起こしたが、曾國藩や李鴻章などの率いる郷勇の前に敗れた。
 - エ. 万曆帝の海禁政策で海外貿易から締め出された人々は武装して密貿易に従事し、北方の後金の侵攻と合わせて北虜南倭と呼ばれる問題となった。
 - オ. 東晋以後の宋・斉・梁・陳という四つの王朝を合わせて南朝と呼ぶが、この時代は世襲の門閥貴族が文化の主たる担い手となった。

問11 下線部①に関連して、この地域について述べた文として、正しいものを次から1つ選び、マーク解答用紙にマークしなさい。

ア. アメリカはベトナム戦争に介入したが失敗し、ジュネーブ休戦協定を結んで撤兵した。

イ. ビルマではパガン朝滅亡後の混乱をタウンゲー（トゥンゲー）朝が統一し、侵攻してきた清朝を撃退しタイのアユタヤ朝を滅ぼした。

ウ. 16世紀の日本では東南アジアとの交易に乗り出す商人が増え、江戸幕府を開いた徳川家康は彼らに朱印状を与えて朱印船貿易を行った。

エ. オランダはジャワ島のバタヴィアを拠点にしてアジア交易を進め、1623年にはアンボン（アンボイナ）事件を起こしてポルトガルに対する交易上の優位を確立した。

オ. フランスはラオスとカンボジアを合わせてフランス領インドシナ連邦を形成し、清仏戦争後には阮朝を滅ぼしてベトナムも連邦に加入させた。

問12 下線部(a)に関連して、清末の天津は北京の海の玄関口としてしばしば重要な外交舞台となり、いくつかの条約が結ばれた。このうち日本と清の間で結ばれた1885年の天津条約について、金玉均らが起こし、条約締結の原因となった事件の名を記述解答用紙に記入しなさい。

問13 下線部(b)に関連して、この地域を支配してモンゴル帝国の後継を自称したティムールが1402年にオスマン朝を破った戦いの名を記述解答用紙に記入しなさい。

問14 下線部(c)に関連して、次代の明朝でも続いた銀経済の拡大を要因の一つとして、各種の税や徭役を銀に一本化して納入する新しい納税制度が実施された。この制度の名を記述解答用紙に記入しなさい。

問15 下線部(d)に関連して、これを支えた銀山のうち現在のボリビアで16世紀に見られ、スペインによって開発された銀山の名を記述解答用紙に記入しなさい。

問16 下線部(e)に関連して、この紙幣の名を記述解答用紙に記入しなさい。

問17 下線部(f)に関連して、フランスによるルール占領以後のドイツが苦しんだ極端なインフレーションを収束させたドイツの政治家の名を記述解答用紙に記入しなさい。

問18 下線部(g)に関連して、塩は世界各地において重要な交易商品であった。サハラ砂漠で取れる塩と西アフリカ産の金を代表的な商品とする塩金貿易を基盤として、11世紀までセネガル川流域に栄え13世紀まで存続した王国の名を記述解答用紙に記入しなさい。

問19 下線部(h)に関連して、チンギス=ハンは主要道路の一定距離ごとに宿舎・食料・馬を備えた施設を整備させ、公用の通行証明を持つ者がそれを利用して迅速に移動できるよう図った。このシステムの名を記述解答用紙に記入しなさい。

問20 下線部(i)に関連して、江南の農業生産力の向上には宋が金に華北を奪われ江南を根拠地とせざるをえなくなったことが大きく影響しているが、宋が華北を喪失することになった事件の名を記述解答用紙に記入しなさい。

問21 下線部(j)に関連して、元朝以後の遊牧民も中国との交易を求め、拒絶された場合しばしば武力に訴えた。このうち、オイラトのエセン=ハンが親征してきた明の正統帝を捕虜とした事件の名を記述解答用紙に記入しなさい。

